

SEKONIC CO., LTD.



**SEKONIC**

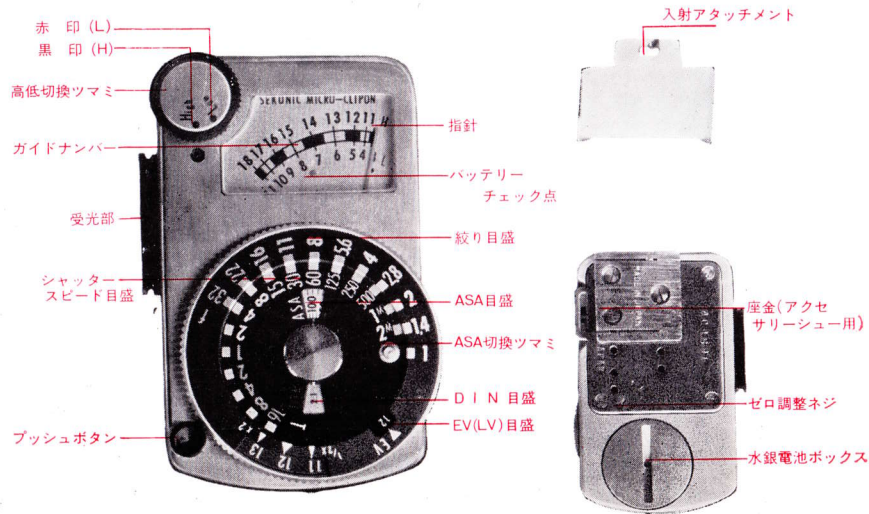
**MICRO CLIP-ON**

model-136

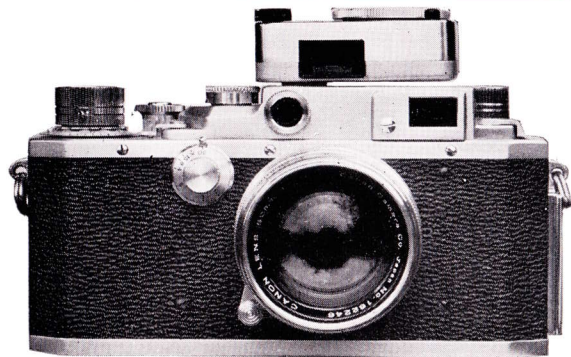
INSTRUCTION



## 各部名称



## マイクロクリップオンメーターについて



セコニックマイクロクリップオン 136型は、世界で初めて露出計に超高感度CdSを採用したセコニックが、その経験と技術を結集して完成した高感度クリップオンメーターです。

感光体にCdSを採用した結果、測定可能範囲が極めて

広く、何時どんな所でも適正露出が得られ、しかも小型軽量でカメラのアクセサリーに簡単に取付けられますから、どんなカメラにでも手軽にご使用出来ます。

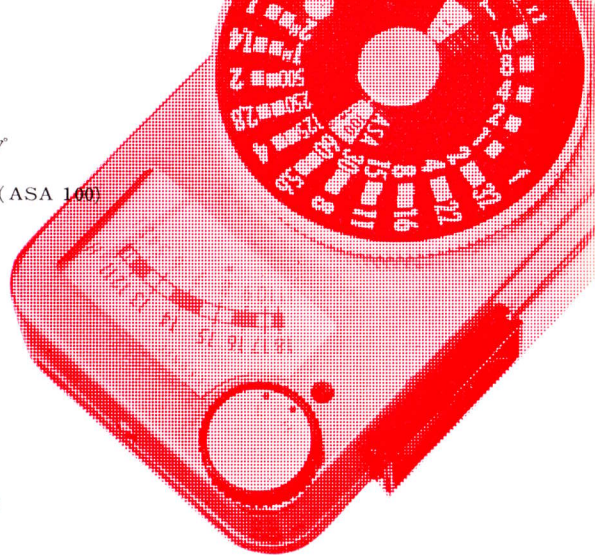
特にカラー撮影、夜間での撮影の場合には、その威力を充分に発揮し、E・Eカメラにも不可欠のメーターです。

## 特 徴

- 超高感度CdS 使用
- 小型軽量クリップオンタイプ
- 入反射兼用 二段切換
- 測定可能範囲 L V 3~18 (ASA 100)
- バッテリーチェッカー付

## 仕 様

- CdS 使用
- 入反射兼用 二段切換
- 入射アタッチメント付
- 測定可能範囲 (ASA 100)  
高照度 L V 10~18  
低照度 L V 3~11
- L V目盛 L V -3~19
- ASA目盛 ASA 6~12,000
- DIN目盛 DIN 6~42
- 絞り目盛 F1~32
- シャッター目盛 16秒~ $\frac{1}{1000}$ 秒
- 大きさ 37×53×24mm (外径)
- 重 量 65gr

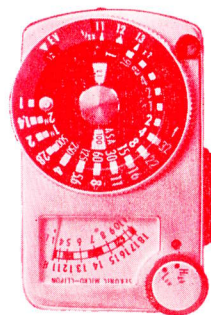


## 反射式と入射式について

被写体の適正露出を得る方法には反射式と入射式の二つの方法があります。

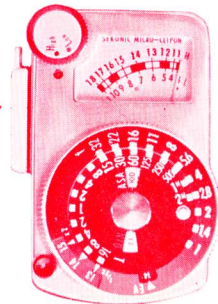
反射式とは被写体に当って反射して来る光の強さ（輝度）を測り、入射式は被写体に当たっている光の強さ（照度）を測って適正露出を決定する方法です。

従って測定する場合、反射式では被写体の方に、入射式ではカメラの方にメーター受光部を向けて測ります。どちらの方法でも適正露出は得られます



入射式ではカメラ  
の方向にむける

反射式では被写体  
の方向にむける

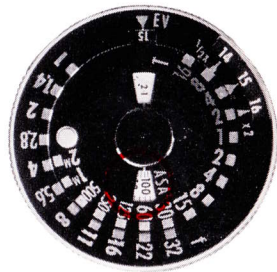




## 反射式の測り方

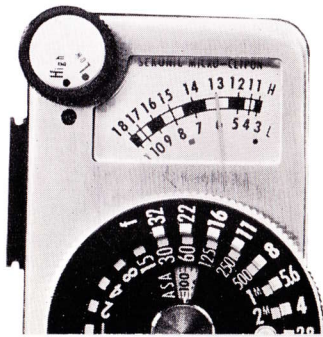
### 1. ASA数値を合わせて下さい

先ずASA切換ツマミを廻わしてASA窓にフィルムの感度数値(ASA数値)を合わせて下さい。ASA数値はフィルムの種類、メーカーによって異なりますが、普通SSはASA100、SSSは200等です。ASAダイヤルにはASA及びASA°(ニューASA)が表示されてあるのもございますが、ASA°(ニューASA)は主として米国、カナダに於いて使用されるもので国内ではASAを御使用下さい。ASAとASA°(ニューASA)とをお間違のないよう御注意下さい。例えば、ASA100とした場合、ASA切換ツマミを廻してASA数値を写真右上の通りに合せて下さい。



### 2. メーター受光部を被写体に向けて下さい。

プッシュボタンを押しますと電流が流れて指針が振れますから、指針の振れた値を読んで下さい。その場合、低照度(Low)で振り切れるときには高低切換ツマミによって高照度(High)に合せて下さい。高照度の場合には指針指示目盛の11~18(黒数字)、低照度の場合には3~11(赤数字)を使用致します。右写真ではHighに合せてありますからスケール上の13を読取ります。



次に外側のダイヤルを廻して読取った数値13に、ダイヤル上にある3つの三角印のうち中央の印を合せて下さい。(右上写真参照)

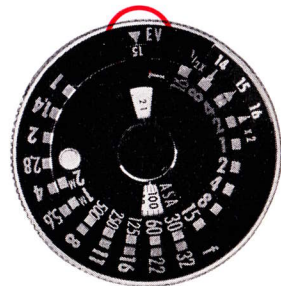
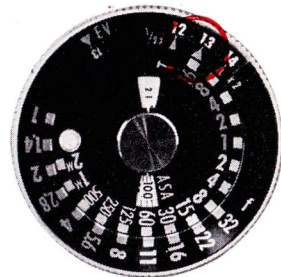
### 3. カメラにセットして下さい。

ダイヤル上に組合わされたシャッタースピードと絞り(例F8 1/30秒)が適正露出ですからそのままカメラにセットして下さい。

又、ダイヤル上のシャッタースピードと絞りの組合せは何れも適正露出ですから、被写体の状態や撮影意図によってシャッタースピードを早くすれば絞りはそれだけ開き、絞ればシャッタースピードは遅くなります。

### 4. ライトバリュウ

ライトバリュウシステムのシャッター付カメラをお持ちの方はライトバリュウ数値を御利用になると非常に便利です。(右下写真参照)



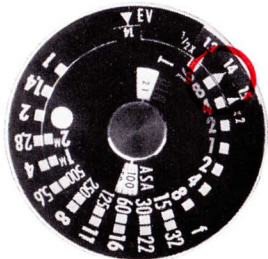
## 反射式の正しい測り方

### 1. カメラ位置からの測り方

この方法は最も簡単で素早く適正露出が得られる方法で、風景等の撮影に使われます。メーターの受光部を地平線と自分の足元の間に向けて測って下さい。ただ漠然と被写体に向けて空からの光が入って露出不足になるのを防ぐためです。指針の振れた値（例：14）を読み取って、ダイヤルを廻わして中央の三角印を14に合わせて下さい。得られたシャッタースピードと絞りの組合わせが適正露出です。

#### 例

指針の振れ 14  
ASA数値 100  
中央の三角印に14を合わせる  
適正露出…………… F 8、 $\frac{1}{250}$ 秒



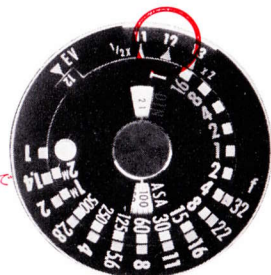
### 2. クローズ・アップ

この方法はポートレート、被写体の部分を強調したい時、或はバックは大して必要ない時等に使われます。

この方法で測る時メーター受光部を被写体に約10cm位に近付けて測って下さい。人物撮影は特殊の場合を除いて最も大切な所は顔ですから、顔の露出を測ればよいわけです。そして指針の振れた値に中央の三角印を合わせて1と同様の方法で露出を決定して下さい。

#### 例

指針の振れ……………12  
ASA数値…………… 100  
中央の三角印を12に合わせる  
適正露出…………… $\frac{1}{250}$ 秒 F5.6で



### 3. ライトバランス

この方法は被写体の明暗の差が激しい場合（明るい所は非常に明るく、暗い所は極端に暗い）には最も正しい露出が得られます。

まず被写体の最明部と最暗部をクローズアップで測定し、得られた二つの間に中央の三角印をセットして下さい。これは両方の平均の値を意味します。この方法によってポートレート等を撮影する場合、ハイライト（最明部）とシャドウ（最暗部）の比を8：1以内にするよう光を調節すれば一層美しい写真が撮れます。更に又、カラー撮影の場合には特に

このライトバランスを4:1以内にするよう心掛けて下さい。

例えばシャドウが9 ハイライト13の場合中央の三角印を中間の11に合わせます。

例

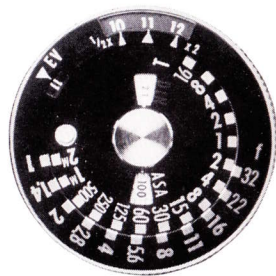
ASA 数値.....100

指針の振れ シャドウ 9

ハイライト 13

中央の三角印を中間の11に合わせる

適正露出.....F4で $\frac{1}{25}$ 秒



## 入射式の測り方

受光部を手前に向ける。

入射アタッチメントをつけましたら、受光部を被写体からカメラの方へ向けます。指針の振れた値をダイヤルに合せることは反射式と全く同じです。もし被写体に近付けなくて代

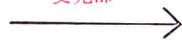
用測定する場合には被写体と同一光線の下で測定して下さい。トップライト、側面光等の場合は、カメラの方へ向けた値と主光源へ向けた値の中間をとります。

入射式は被写体と標準反射(18%)すると仮定しての値ですから、人物撮影とか近景に適します。

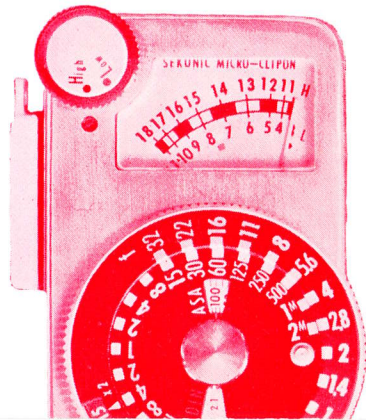
## 入射アタッチメント



受光部



セコニックマイクロ クリップオンを入射式としてお使いになる時は必ず受光部に入射アタッチメントをつけて下さい。



## 代用測定

被写体が遠くて近付けないような場合には、セコニック標準反射板をお使いになるか、手近にある被写体と同じようなものを測った値で撮影して下さい。代用測定する際には測るものが被写体と同じ光線状態にならないと云うまでもありません。

又、人物等は手のひらで測ります。

## 非常に暗い場所での測り方

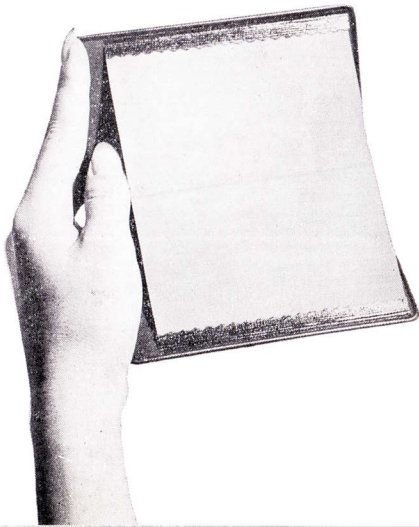
メーターを低照度にしても指針が振れないような非常に暗い場合には、メーター受光部を直接光源の方に向けて得られた値を10倍して下さい。

例 ASA... 100

指針の振れ……5 (F1.4,  $\frac{1}{50}$ 秒)

10倍する  $\frac{1}{50} \times 10 = \frac{1}{5}$

適正露出… F1.4で1秒



## シネ撮影の場合

シネ撮影の場合の測り方は普通のカメラの場合と全く同じです。但し、シネカメラのシャッタースピードは普通のカメラと違って、一秒間に回転速度が8・16・32・64というコマ数になっておりますから、ご使用になる撮影機のコマ数に組合わされている絞り値で撮影して下さい。

シネ撮影のうち8ミリは、特殊撮影を除いて16コマ ( $\frac{1}{50}$ 秒) が標準コマ数とされておりますから、 $\frac{1}{50}$ 秒の対向数値をシネの絞り値にして下さい。



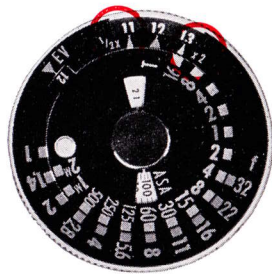


## フィルター使用するとき

フィルターをつけた場合も測定方法は同じです。

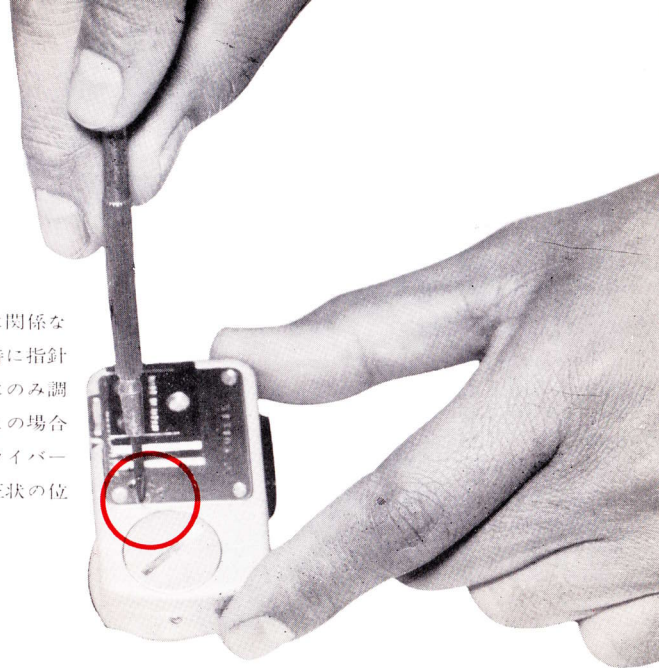
このセコニックマイクロクリップオンにはフィルター倍数目盛 ( $\times 2\frac{1}{2}$ ) がついておりますから、得られた数字をダイヤルに合わせる時に2倍のフィルター (Y2クラス) の場合には、▲ $\times 2$ で合せて下さい。

又、特殊な効果とか特別な光線状態下の撮影には適正露出を過不足することがありますが、このような場合、露出を増す時には $\times 2$ 減らす時には $\frac{1}{2}$ で合せると便利です。



## ゼロ調整

ゼロ調整は受光部の遮光に関係なく、スイッチを押さない時に指針が0からズレている場合にのみ調整する必要があります。この場合ゼロアジャストネジをドライバーで左右に廻わして指針を正状の位置に調整して下さい。





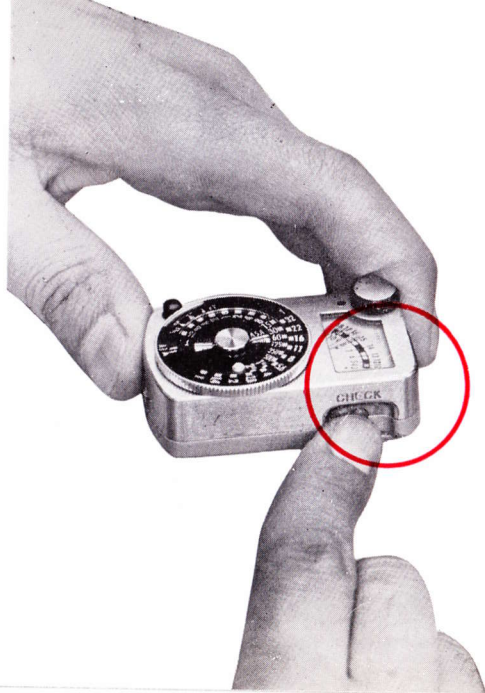
## バッテリーの交換

このセコニックマイクロ クリップオンは水銀電池 (1.3V) を 1 個使用しております。

この水銀電池はフルスケール (メーターを一杯に振らせた状態) にして約 190日間保ちますから、普通にお使いいただければ約 2 年間保ちます。

本体側面にバッテリーチェッカーがついておりますから、ボタンを押して指針が窓の中の青印の範囲内か又は青印に接していればよいわけです。指針がそれより振れなくなった時には新しい電池 (1.3V) と取換えて下さい。

この場合蓋の溝に硬貨を入れ時計針と反対の方向に回転させると蓋が外れます。



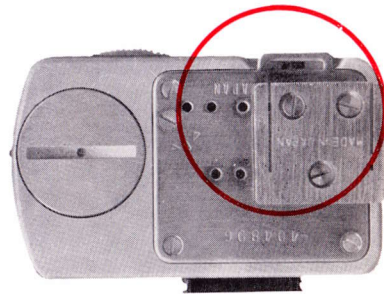
## アクセサリシュー

カメラのアクセサリシューに取付けて、クリップオンメーターとして御使用になる時は同封されております座金を写真 A のようにメーター裏側に固定して下さい。

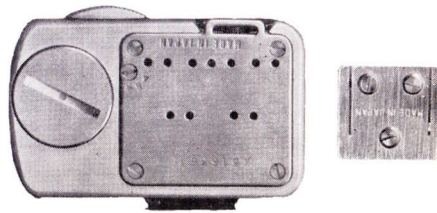
カメラに座金が入らないような場合には座金を外して適当な位置に固定して下さい。座金は三個所に移動出来ます。

また、単体メーターとして使用なさる時は写真 B のように座金を取はずした状態で使いますと、より軽く、携帯に便利です。

A



B



## 露出メーター保存上の注意

1. 湿気の多い所に長い間放置しないで下さい。
  2. 60℃以上の高温を与えないで下さい。
  3. 急な衝撃を与えないで下さい。
  4. 長い間使用しないでしまっておく時には、革ケースより取出し、桐箱等にジリカゲル(防湿剤)と一緒に保存して下さい。但し金属の容器への保存は避けて下さい。
- この場合は水銀電池も取出して別に保存して下さい。

製 造 元：株式会社 セコニック  
発 売 元：株式会社 コパル  
~~販 売・外 国 部：東京都豊島区池袋東1-6 伊藤ビル (984)2561~~  
大 阪 営 業 所：大阪市東区本町2-25 本町ビジネスビル (251)1621~3  
名古屋サービスセンター：名古屋市東区武平町4-17 (97)3984.9324  
福岡サービスセンター：福岡市奈良屋町12 奈良屋ビル (29)3631  
セコニック日本橋サ  
ービスステーション：東京都中央区日本橋本石町3-4 (270)3761~4

東京都新宿区市ヶ谷田町3-8 東京サービスステーション新幹ビル TEL (269)7241~4

セコニックマイクロクリップオンをお買上げいただき誠に有難度うございました。

このメーターは高度に合理化されたJIS指定工場に於いて、ピス一本から製品に到るまで数十回に及ぶ諸検査に合格して製品化され、皆様のお手許にお届け致しております。

万一輸送途上等に於いて故障致すようなことがございましたら、お買求めいただきましたお店にお申出下さい。

## 水銀電池について

1. 露出計を長期間使わない時は水銀電池を取り出して乾燥した場所に保存して下さい。
2. 水銀電池を電池室に入れる時は接触不良を防止する為に電池と接点を乾いた布で良く拭いて下さい。
3. 水銀電池や接点に電池の排気ガスによる白色の粉末が付着することがありますが、接触不良の原因となりますので乾いた布で良く拭きとって下さい。